

日

米

交

流

かかし作り

交流
プロジェクト
2023

表彰式

東北防衛局では、日米の相互理解を深めるため、在日米軍の関係者と地域住民とのスポーツや文化などを通じた「日米交流」の促進に取り組んでいます。

9月21日（木）、日米交流事業「かかし作り交流プロジェクト2023 in つがる」の表彰式を開催し、青森県つがる市立車力小学校の5年生の児童と米陸軍車力通信所の軍人等、日米の参加者36名が参加し交流しました。

表彰式では、7月に日米の参加者が混合6チームに分かれ制作したかかしについて、つがる市内で行われた人気投票の結果により選ばれた金賞、銀賞、銅賞、特別賞の各賞と記念品の授与が行われました。

金賞に輝いたチームの児童は「米軍の人と一緒にかかしを作れて楽しかった。金賞がもらえるとは思ってなかったので、とてもうれしい。」、米軍人は「子供たちがみんな頑張ってくれたので、素晴らしいかかしを作ることができた。金賞をもらえて光栄です。」と話していました。

車力小学校の佐々木綾子校長から「かかし作りを通じて米軍の方たちと交流できて良かった。このような機会をいただいて感謝しています。順位に関係なく自分たちのチームが一番と思ってほしい。」との総評をいただき、来賓として表彰式に参加した在日米陸軍司令部のマディア・メムド政治軍事課長は「今日は素晴らしいかかしと皆さんに会えてうれしい。言葉の壁を越えて素敵なかかしが完成して良かった。日本とアメリカの交流がこれからも続くことを願っています。」と述べられました。

また、この日米交流の取組みの一環として、10月12日（木）、車力小学校の5年生の授業における稲刈り体験に、東北防衛局が支援し、米陸軍車力通信所の軍人等5名が参加しました。

当日は絶好の秋晴れとなり、稲刈りには少し汗ばむ陽気の中、日米の参加者は身振りを交えた英語や日本語でコミュニケーションを取りながら、稲刈り体験を楽しみました。

児童からは「英語で話しながら、一緒に稲刈りができて楽しかった。」、一緒に稲刈りをした米軍人等からは「春の田植えに続いて、稲刈りにも参加できて、とてもうれしい。」との感想が寄せられました。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解の一助となるよう、今後も様々な形で活動してまいります。

【かかし作り表彰式】



主催者挨拶（小松幸弘企画部次長）



指揮官賞の授与



校長賞の授与



総評を述べる校長先生



総評を述べるメムド課長



全員で記念撮影



金賞の授与



【金賞】チーム名「ブラックチョコ」
かかし名「バリビガール」

【稲刈り交流】



説明を受ける日米の参加者



みんなで稲刈り



稲刈り後に記念撮影